

日医発第 1929 号（地域）  
令和 6 年 1 月 3 0 日

都道府県医師会長 殿

公益社団法人日本医師会  
会長 松本吉郎  
(公印省略)

令和 6 年（2024 年）能登半島地震における JMAT 派遣体制の再構築について

令和 6 年（2024 年）能登半島地震被災地への日本医師会災害医療チーム（JMAT）の派遣につきまして、全国の医師会から非常に多くのご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

現在、石川県内では、DMAT（災害派遣医療チーム）の派遣規模の変化等もある中で、各団体による避難所等の支援、保健所の活動開始等、医療支援のニーズが変化しつつあります。また、金沢市を含む県南地方に避難所を設置し、能登北部等からの避難者を受け入れております。

こうした状況の下、今般、本会では、能登北部・中部における診療所、避難所等の支援、金沢市以南の避難所等における支援について、石川県医師会とともに協議を行い、今後は、可能な限り同じ都道府県医師会による、同一地域の診療所または避難所等へ交代しつつ継続派遣できることを基本として、能登北部に統括 2 チームを含む 1 2 チーム。能登中部に統括 1 チームを含む 3 チーム、金沢以南の避難所等に統括 1 チームを含む 7 チーム、JMAT 調整本部への統括 3 チームの、1 日あたり 2 5 チームほどの派遣とすることといたしました。（緊急臨時的な場合は改めて要請致します。）

継続いただけるチームへは、可能な限り事前に派遣先をお伝えするようにいたします。

また、実際の派遣要請は、石川県医師会が参画している石川県保健医療福祉調整本部との調整の上で行います。なお、本日までの登録分を含め、お申し込みをいただいた JMAT についても、最終的に派遣要請をしない可能性がありますこと、何卒ご了承ください。

つきましては、各都道府県医師会におかれましても、上記につきご了承いただくとともに、各地域医師会等からの JMAT 参加のお申し出には、上記の状況をご説明いただくようお願いいたします。

JMAT の活動は、災害急性期の医療支援ではなく、急性期以降、復興までの長期にわたる支援でありますので、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。